

夏秋レタス（6月～10月）の需給・価格見通し

1 生産出荷状況

(1) 供給計画

平成20年の夏秋レタスの供給計画によると、全農が2月に策定した当初計画においては、作付面積は対前年比97%（系統共販分）であるが、10アール当たり収量増を見込み、収穫量で106%、出荷量で104%としたところである。また、5月に策定した確定計画においては、前年比104%の出荷量を見込んでいる。

○当初計画

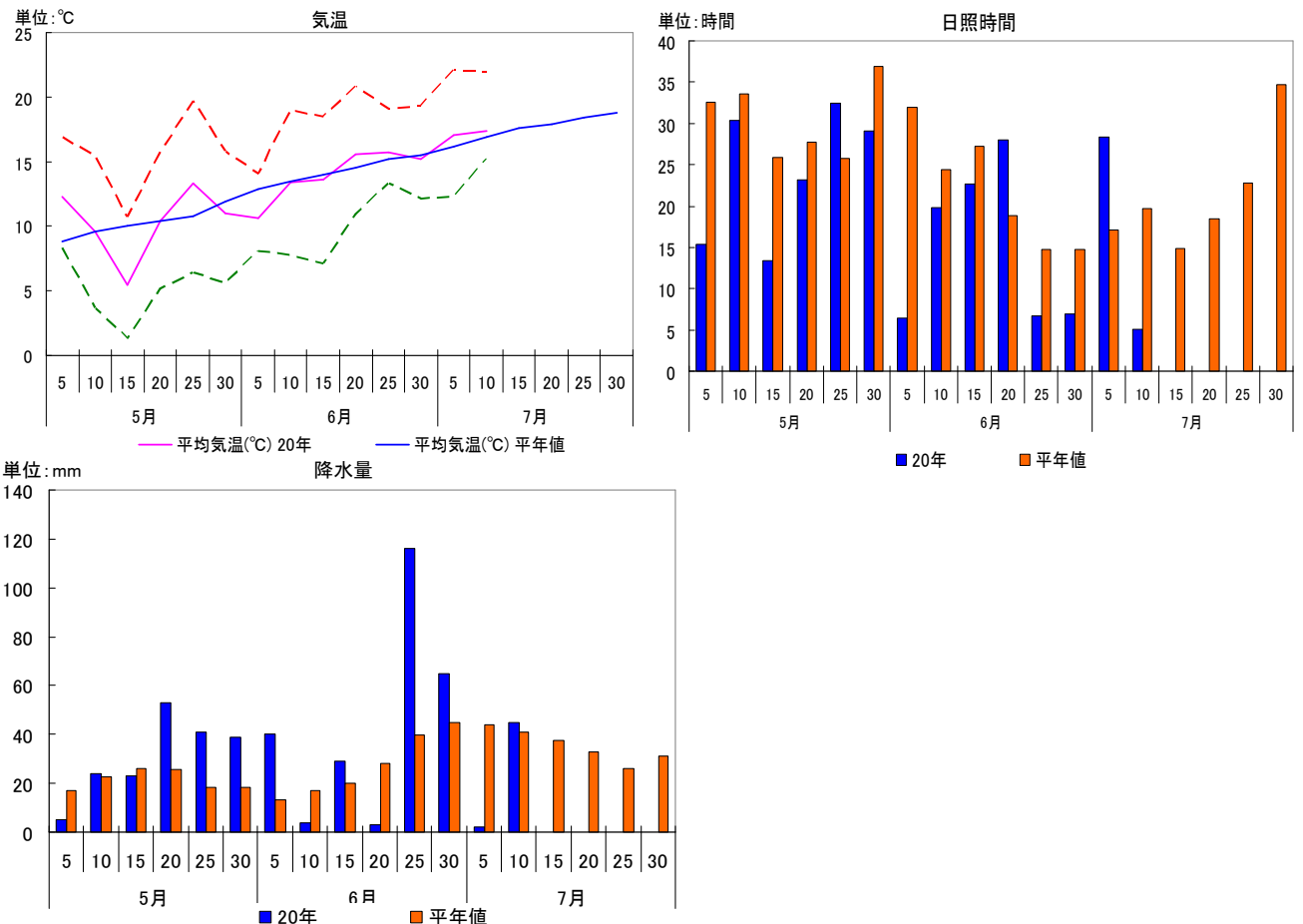
作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
20年	19年	前年比	20年	19年	前年比	20年	19年	前年比	20年	19年	前年比
6,457	6,674	97	3,081	2,800	110	198,957	186,858	106	183,992	177,668	104

○確定計画

全国出荷量 (t)			うち系統出荷量 (t)		
20年	19年	前年比	20年	19年	前年比
280,875	271,022	104	176,105	169,144	104

(2) 天候

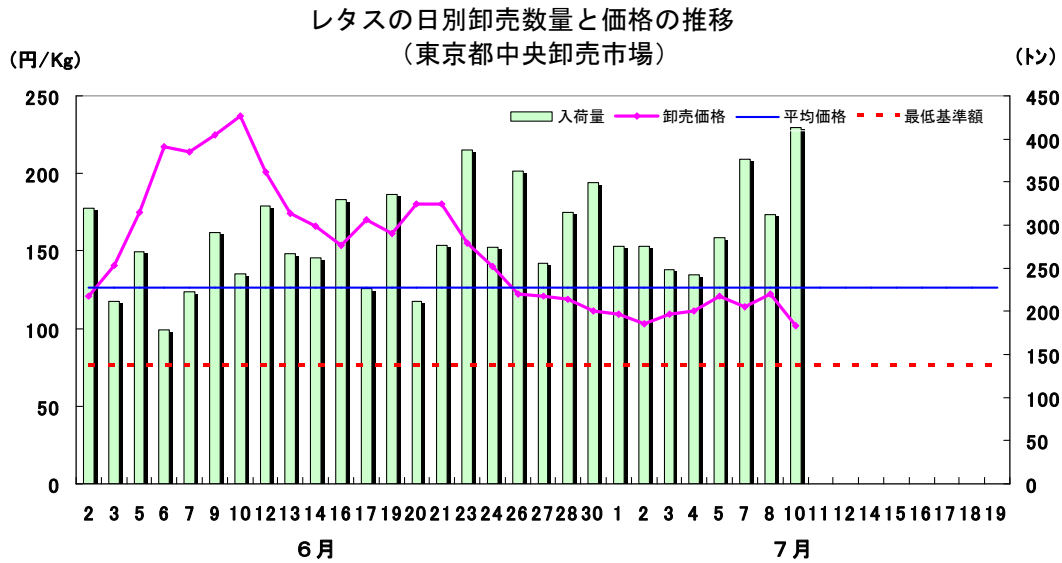
主産地の長野県（野辺山）の本年の天候は、5月上旬は気温の高い時期があったが、5月中旬、5月下旬～6月上旬にやや気温が低く、日照時間の少ない時期があり、6月下旬は降水量が多く日照時間は少なかった。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：気象庁「AMeDAS」

(3) 生育・出荷状況及び今後の見通し

4月下旬から5月上旬の気温が高かったことから、一時的に出荷が前進化したが、5中下旬の低温により、6月上旬の出荷はやや少なくなった。今後は平年並みの入荷が見込まれる。

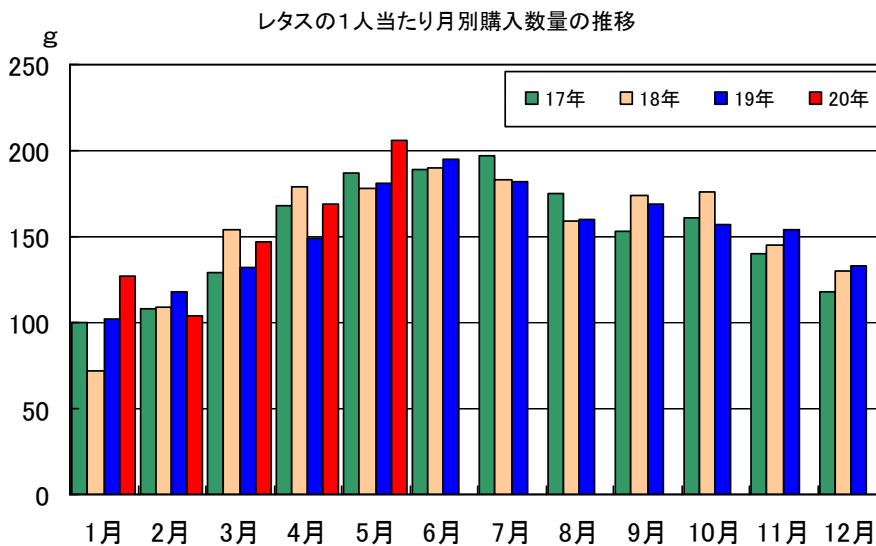


資料：農林水産省統計情報部「青果物日別取扱高統計結果」

2 需要動向

(1) 家計消費

家計調査によるレタスの一人当たり購入数量をみると、6月をピークに7月、8月はやや減少する時期となっている。



資料：総務省統計局「家計調査報告」

(2) 加工・業務用需要

レタスの加工・業務用需要は、全体需要の57%と推定されている。

レタスの加工・業務用需要の割合

平成2年	平成12年	平成17年
52%	57%	57%

資料：農林水産政策研究所調べ

3 参考

夏秋レタスの過去における市場隔離等の実施状況

年度	実施時期	実施数量 (t)
10	8月上旬	588
11	6月下旬~7月上旬	2,699
12		
13	7月下旬	1,324
14	7月中旬	1,914
15	7月上旬~中旬	576
16	8月中旬	410
17	6月中旬~8月下旬	6,112
18		
19		